

- 問1 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？
- 問2 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？
- 問3 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？
- 問4 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？
- 問5 明治初期、西洋の生活様式や文化が取り入れられ、急速に社会が近代化した風潮を何という？
- 問6 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？
- 問7 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？
- 問8 大政奉還や王政復古の大号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？
- 問9 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？
- 問10 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？
- 問11 明治政府が1868年に政治の基本方針として発表したものを何という？
- 問12 戊辰戦争の最後の戦いとして、新政府軍と旧幕府軍が北海道で争った戦争を何という？
- 問13 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問14 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？
- 問15 明治政府の徴兵制において、兵役の義務の対象となった男子の年齢は満何歳？
- 問16 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？
- 問17 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？
- 問18 明治維新の初期、1868年に京都近郊で新政府軍と旧幕府軍が激突し、内戦のきっかけとなった戦いを何という？
- 問19 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？
- 問20 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？
- 問21 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？

## 答え合わせ・解説

|     |                |                                                                                                                                 |
|-----|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え<br>地券       | 1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。                                         |
| 問2  | 答え<br>王政復古の大号令 | 1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。                                  |
| 問3  | 答え<br>1871年    | 1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。 |
| 問4  | 答え<br>旧幕府軍     | 榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。                                           |
| 問5  | 答え<br>文明開化     | 服装、髪型、食生活が変化し、レンガ造りの建物や新聞、郵便制度が登場しました。特に「学制」の施行や「太陽暦」の採用により、国民の生活や意識も近代的に変わっていきました。                                             |
| 問6  | 答え<br>富国強兵     | 明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。                                                  |
| 問7  | 答え<br>富国強兵     | 富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。                                  |
| 問8  | 答え<br>鳥羽・伏見の戦い | 1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍勢力では勝ると思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。                         |
| 問9  | 答え<br>一揆       | これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。                                  |
| 問10 | 答え<br>五箇条の御誓文  | 1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。              |
| 問11 | 答え<br>五箇条の御誓文  | 1868年、明治政府が発表した「五箇条の御誓文」は、天皇が神々に誓う形式で示された政治の基本方針です。主な内容として、公論に基づく政治、知識を世界に求めること、旧来の悪習の廃止などが盛り込まれました。                            |
| 問12 | 答え<br>箱館戦争     | 新政府軍はこれを反乱とみなし、陸海軍を投入して討伐を行いました。函館周辺の各地で激戦が繰り広げられ、最終的に旧幕府軍が降伏することで戊辰戦争は幕を閉じました。                                                 |
| 問13 | 答え<br>王政復古の大号令 | 1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川將軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。                           |
| 問14 | 答え<br>函館       |                                                                                                                                 |
| 問15 | 答え<br>20歳      | 1873年の徴兵令により、満20歳になった男子に対して兵役の義務が課されました。これにより、それまでの武士の特権であった軍事活動が国民全体に広がられました。                                                  |
| 問16 | 答え<br>府知事      | 明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。    |
| 問17 | 答え<br>1868年    | 1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。           |
| 問18 | 答え<br>鳥羽・伏見の戦い | 1868年1月、京都南部の鳥羽・伏見で旧幕府軍と新政府軍が衝突しました。圧倒的な兵力を持つ幕府軍に対し、新政府軍は「錦の御旗（にしきのみはた）」を掲げて戦い、官軍としての正当性を主張しました。結果として旧幕府軍が敗走し、徳川慶喜は江戸へ退却しました。   |
| 問19 | 答え<br>廃藩置県     | 明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。                                              |
| 問20 | 答え<br>一揆       | この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。                                         |
| 問21 | 答え<br>1868年    | 1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。                                |